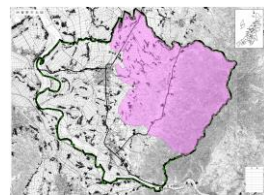


エコファームささかみ株式会社（新潟県阿賀野市）

組織の概要

- 任意組織である広域受託組合（ささかみ農作業機械化銀行）を発展させ、新たな政策への対応をはじめ、地域農業・環境を守り、将来の経営発展を目指すことを目的に、中核的な農家・JAささかみ・(株)ささかみ（豆腐製造業者）の共同出資により設立（平成19年）。
- 構成農家 40戸
- 大豆は生産から加工、販売まで一貫した体制を有する。



【阿賀野市笹神地区】

生産概要

- 【作付面積】水稻：20.6ha、小麦：13.5ha、大豆：101.5ha（R3年）
- 【主な作付品種】：（小麦）ゆきちから、（大豆）里のほほえみ
- 需要の拡大に対応するため、小麦・大豆の作付を拡大。



【麦ほ場の様子】

取組のポイント

<団地化の取組>

- 小麦については、JA、市、土地改良区、県と連携して団地化を進める。
- 集落から理解と協力を得るために、説明会の開催や個別訪問等を行い、団地化の必要性を説明。

<需要に応じた生産の取組>

- 県内実需者から需要のある品種（ゆきちから）を作付。

<排水対策の実施とドローン導入による作業負担軽減>

- 小麦において、湿害の対策として心土破碎、土壌診断に基づく酸度矯正資材施用等を実施し、生産性の向上を図る。
- 経験が少ない者や高齢者でも、操縦が容易な完全自動飛行農業用ドローンを導入し、作業負担の少ない肥料・農薬散布を実施する。



【ドローンでの肥料・農薬散布】

取組成果

<団地化率の向上>

- 集落から理解・協力が得られたことにより、作付ほ場の調整が円滑に進み、団地化率が向上した。（21.4ポイントの増）

<作付面積の拡大>

- 集落から理解・協力が得られたこと、作業者を確保したことで、作付面積が拡大した。（43.7%の増）

